



TESTSTRUCTURE® テストラクチャー

(特許第 6148362 号)

もう、テスト設計で迷わない！

1 国際規格に準拠したツール(※)

- ツールが規定するプロセスに従って作業することで、ISO/IEC/IEEE 29119-2のテスト設計が可能に
- プロセスや成果物が標準化され、テスト設計の品質のバラつきを抑制

※ツール内で使用している用語はISO/IEC/IEEE 29119の用語に準拠

2 グラフィカルに分析・整理・操作

- 思考の整理や、抜け漏れの確認が容易に
- 操作しやすいインターフェースでテスト設計時間を短縮

3 再利用可能なノウハウの蓄積

- 汎用的に利用されるノウハウを蓄積し、いつでも再利用可能に
- ノウハウを可視化することで、各エンジニアのスキルへの依存を低減し、テスト設計の品質向上を実現

テスト開発プロセスに従ったテスト設計ができる！

STEP1

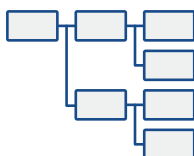
テストベースの理解・分析



取り込んだテストベースを、マウスドラッグだけの簡単な操作でタグ付けします。

STEP2

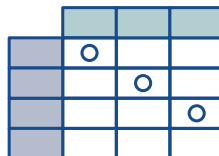
階層的整理



テスト対象やテスト観点を見やすく階層的に整理。思考の整理や、抜け漏れの確認が容易に。作成した階層はテンプレートとして再利用可能。

STEP3

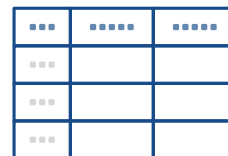
詳細化対象の決定



自動的に組み合わせられたマトリクスからテストする対象を選択することで、詳細化対象を決定。

STEP4

テストケースの作成



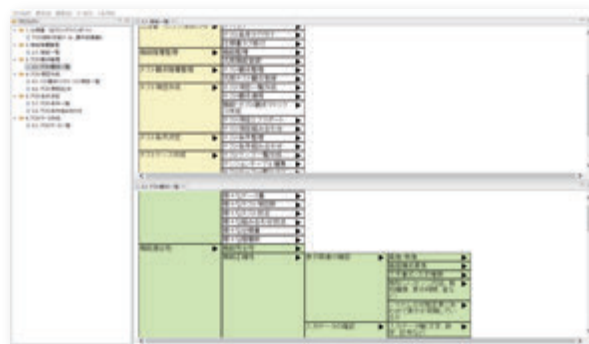
条件の組み合わせを選択し、必要な組み合わせ数でのテストケースを出力。エクセルフォーマットへのエクスポートも可能。

特長



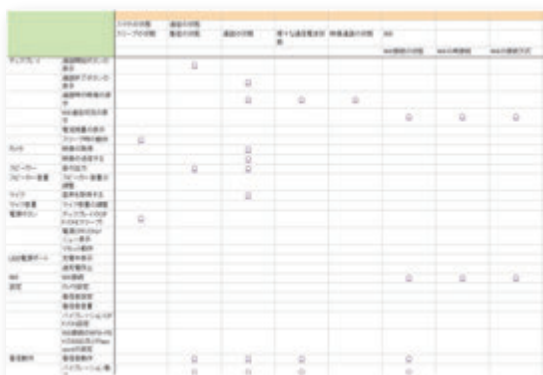
■ テストベースへのタグ付け

エンジニアがテストベースの記述を読んで分析した結果を、テストベース上にタグとして付与することで可視化。タグ情報は他画面に自動的に反映されます。



■ フィーチャーの整理

テンプレートを活用し、フィーチャーを階層的に整理することで構造化します。整理した結果は他のプロジェクトのテンプレートとして再利用できます。



■ テスト条件の作成

マトリクスを使いテスト条件を作成します。全体を俯瞰でき、レビューしやすくなります。



■ テストケースの作成

テスト条件に対して、値を指定することで、テストケースを生成します。All-pair法をサポートしており、組み合わせ数の抑制が可能です。テスト条件・テストケースはエクスポートすることができます。

動作環境・データ量の上限

動作環境

OS	Windows 8.1 Pro Windows 10 Pro
メモリ	2.00GB 以上 (推奨: 8.00GB 以上)
Java	Java 1.8.0_73
ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 11

※Javaはインストーラーにて同梱インストール

データ量の上限

テストベースへのタグ付け	タグ数: 10,000 (1 テストベースあたり) タグ数: 110,000 (全テストベースの合計)
テストベースの容量 (html 形式に変換後の html ファイルサイズ)	10MB
成果物エクスポート	テストケース数: 100,000

※1つの作業フォルダに格納可能な上限